

第2号議案

令和6年度事業計画（案）

1 骨子

大分県 LSI クラスタ形成推進会議は、平成17年に産学官が一体となり、本県進出の大手企業と地場企業が共に発展する「おおいたLSIクラスタ」の形成を目指し設立され、世界市場の中で闘えるクラスタを目指し、研究開発や人材育成、販路開拓、情報提供、会員交流に取り組んできました。

平成20年には、企画委員会を設置、地場企業が主体的に活動する事業形態へと組織を変革していくことで、自立して行動できる企業が多く育ち、更にはその中から技術を磨き、事業を拡大し、研究開発助成や海外展開支援を通して新市場へチャレンジする企業も出てきました。平成27年からは活動成果を踏まえ、LSIクラスタの事業運営・方向性として、「幅広い情報の収集」「新たなネットワークの構築」「新分野への活動展開」を重点化し、令和4年からは新たなスローガン・ビジョンの下、根強く活動を推進しているところです。

現在、地政学的リスクを緩和すべく、先進国政府による半導体産業への多額の支援を背景に、半導体を巡る需給構造が世界的に大きく変化しようとする中、九州圏内の半導体関連産業も活況を呈しています。

TSMCの熊本進出を契機に、シリコン材料・半導体製造装置・半導体パッケージ等の新工場着工など、今後の需要拡大に呼応すべく、九州各地が動き出しています。

金融面でも、半導体産業の集積による経済効果を一段と高めるべく、九州・沖縄の11地銀が連携協定を結び、今後、「競争から共創へ」と各行の実行力と体制の前向きな変化が期待されます。まさに、九州の半導体産業が大きく生まれ変わる好機が到来しており、2024年度は「新生シリコンアイランド」の実現に向けた動きが一段と加速すると目されています。

このような背景のもと、当クラスタが成長発展していくためには、半導体を巡る世界情勢や政府施策の動向などを敏速にキャッチアップし、九州圏内の各団体との連携強化や異業種との交流を図りながら、これまで培った技術・人材・ネットワークを活用し、また、中九州横断道路の整備進捗を踏まえたサプライチェーン強化を念頭に、ビジネスチャンスの拡大を進めていくことが肝要です。

更に、「新生シリコンアイランド」としての産業集積の拡大はもとより、付加価値を生み出す「知の集積」も図っていく必要があります。併せて、その実現には半導体産業を支える人材の確保・育成が不可欠であると考えます。

そのため、当推進会議は、専門部会の連携を更に強化し、多様な情報収集・活動を行うとともに、効率的・効果的な事業運営に努めます。

「未来を拓く 産業モデルの創出 ～想いをカタチに 共感で広げる～」をスローガンに、グローバルな競争力・活動力を身につけ、リスクリングの充実や産学官連携による半導体人材の確保・育成に繋がる活動を展開し、また、九州半導体人材育成等コンソーシアムの活動成果も取り込みながら、九州・大分での地域間活動を力強く推進してまいります。

2 専門部会活動方針

イノベーション部会

新技術の創出に資する有望な研究開発テーマの掘り起こしを進めるとともに、新事業にチャレンジする企業を支援していく。

培われた半導体関連技術を基に新分野・成長分野への事業展開を推進すべく、有識者セミナー等を開催し、企業革新を計れる(変革を図れる)人材の育成を推進していく。

九州一丸で進められている「九州半導体人材育成等コンソーシアム」の一翼を担うべく、産学官連携をより強くし、率先して半導体関連人材を育成する。

マーケティング部会

会員企業のグローバルビジネスへの参入を支援するほか、海外企業との商談会を開催し、販路開拓を進めていく。

国内世界規模の展示会に出展し、会員企業の技術や製品を広くPRすることで新たな販路を開拓する。

国内外の大手企業のニーズ調査を行い、会員企業との技術マッチングを推進することで会員企業の販路開拓を支援する。会員企業間協業や異業種分野連携により、モノコトづくりを進めていく。

ネットワーク部会

不確実性の高い現在への順応性と、新たな活況への先見性に富む経営者づくりの為に、トップレベルの情報提供の強化、ネットワークづくりを推進する。

会員同士の交流や国内外の同業・異業種企業・団体との交流、人材確保に向けた産学の交流等を推進する。

3 事業内容

(1) 理事会・専門部会等の開催

「おおいたLSIクラスター」の事業計画等を協議・推進するため、理事会、企画委員会、審査会、専門部会、連絡協議会を開催する。

- ① 理事会 (年度当初始め、年度末)
- ② 企画委員会 (年5回程度)
- ③ 審査会 (随時)
- ④ 専門部会 (随時)
- ⑤ 連絡協議会 (随時)

(2) 総会・フォーラムの開催

①総会

「おおいたLSIクラスター」の取組を、推進会議の会員や県内外に広く周知するために、総会を開催する。

②フォーラム

最新の半導体技術や産業動向等の情報収集の場として、フォーラムを開催する。

特に、世界市場に向けた企業の海外戦略や研究開発等のアライアンスの取組等について、先進事例を紹介する。

(3) イノベーション事業の実施

①補助金の交付

半導体関連技術を基にした新分野・新技術に関する研究開発及び新規事業への取組な

どに対して補助金を交付するとともに、支援事業を具体の製品化等に繋げるべく、成果報告会を通じて、アドバイスやサポートを実施する。

また、産学連携による研究活動への取組に対して補助金を交付する。

②セミナーの開催

半導体関連技術を基に新分野・成長分野への事業展開を目指す会員企業を対象に、技術者塾や事業創出セミナー等を開催する（リスクリングの充実）。

③学との連携・広域連携

企業課題を解決すべく、産学連携による研究活動を支援するほか、新たなシーズの創出を図る。

半導体人材の育成を目的に、半導体教育（教育機関講座への支援、若年層教育の導入）を実施する。

④半導体技術者基礎講座

新任技術者等を対象にした半導体基礎講座を実施する。

（４）マーケティング事業の実施

①海外ビジネス交流

台湾電子設備協会との交流に加え、その他の諸団体との交流も進めながら、幅広い事業分野での台湾商談会を開催する。

②展示会出展

セミコンジャパンやネプコンジャパンに、九州圏内団体と連携し九州パビリオンを出展し、会員のビジネスチャンス拡大を支援する。また、会員企業の技術や製品を広くPRするとともに、「おおいたLSIクラスター」活動を紹介する。

③ビジネスマッチング

九州半導体・デジタルイノベーション協議会との連携や地域間（企業）連携を促進するとともに、国内外の大手企業のニーズ調査を行い、会員企業との技術マッチングを推進することで、会員企業の販路開拓を支援する。また、新規参入支援を拡充するほか、会員企業の技術力を活かし、協業や異業種分野連携により、モノコトづくりを進めていく。

（５）ネットワーク事業の実施

①国内外経営トップ相互の交流

経営トップを対象に、半導体業界の最新動向や技術情報、新分野・成長分野への展開に向けた情報を提供するため、セミナーを開催するとともに、国内外における経営者相互の交流を図る。

②会員間及び産学官のネットワークづくり

大分県自動車関連企業会や大分県医療ロボット・機器産業協議会等の県内他企業会や産学官各団体、九州圏内各団体との交流の場を提供し、市場動向や技術動向等に関する情報交換を行うとともに、会員間のネットワークを形成する。

産学交流は、会員の人材確保につなげるべく推進し、大分県工業連合会との連携事業にも取り組む。

会員企業、県外団体間での『災害時における相互協力に関する合意書』の周知推進による企業間連携の向上、BCP活動の定着、企業・大分の強みとしてのBCP体制の強化を図る。

③広域的な交流の推進

他地域クラスターや海外企業経営者等と広域的に交流し、会員企業の多様な技術活用やビジネス拡大、グローバル化等に結びつける。